

2023年コレクション展I「特集2」

中国明清の書画篆刻

梅舒適コレクションの精華

From Ming to Qing: Chinese painting, calligraphy and seal carving in the BAI Joteki Collection

特集2では、戦後日本を代表する書家・篆刻家である梅舒適

(1916~2008、本名：稲田文二)が独自の金石研究に

基づく慧眼で収集した文物のなかから、中国明・清時代の優品約90件

を紹介いたします。コレクションは明代中期の文人・文徵明(1470~

1559)にはじまり、清代中期に揚州を舞台に活躍した書画家たち・揚州八怪、中国最後の文人と

称される呉昌碩(1844~1927)にまでおよび、書・画・篆刻を網羅している点に

大きな魅力があります。初の大規模な公開となる

梅舒適コレクションの精華を、心ゆくまで堪能ください。



梅舒適コレクションの精華を、心ゆくまで堪能ください。

2023年1月21日(土)―4月9日(日)

(2023年コレクション展I前期期間中)

第I期: 1月21日(土)―2月19日(日)

第II期: 2月28日(火)―4月9日(日)

※I期とII期の間に展示替えを行います。

常設展示室6では、4月29日(土)―7月23日(日)に「近現代の書」を開催します。※6月12日(月)に一部展示替えを行います。

兵庫県立美術館 常設展示室6

開館時間: 午前10時―午後6時(入場は閉館の30分前まで)

休館日: 月曜日、2月20日(月)―27日(月)(メンテナンス休館)

観覧料(2023年コレクション展I全室共通)

一般: 500(400)[300]円/大学生: 400(300)[200]円/70歳以上: 250(200)[150]円

高校生以下無料/障がいのある方(一般): 100(100)[50]円/障がいのある方(大学生): 100(50)[50]円

※()内は20名以上の団体料金、[]内は特別展とのセット料金。※障がいのある方1名につき介護の方1名は無料です。※一般以外の料金には証明できるものご提示が必要です。※毎月第2日曜日は公益財団法人伊藤文化財団の協賛により無料となります。※団体(20名以上)でご鑑賞いただく場合は事前のご連絡をお願いします。

※()内は20名以上の団体料金、[]内は特別展との

セット料金。※障がいのある方1名につき介護の方

1名は無料です。※一般以外の料金には証明

できるものご提示が必要です。※毎月第

2日曜日は公益財団法人伊藤文化財団

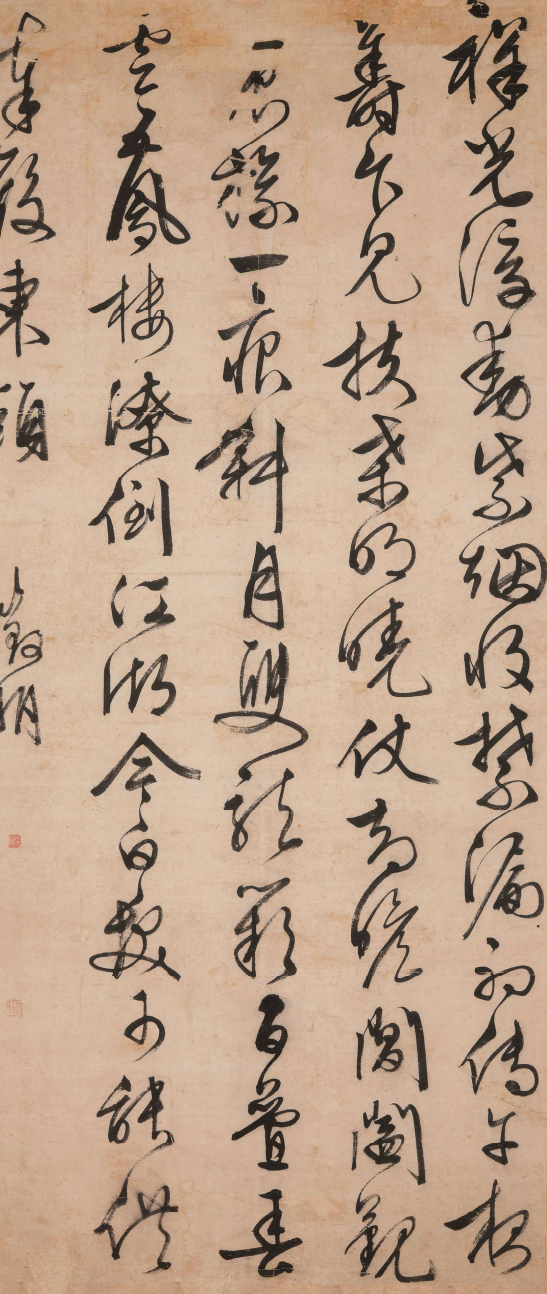
の協賛により無料となります。※団体

(20名以上)でご鑑賞いただく場合は

事前のご連絡をお願いします。



呉昌碩
《「美意延年」白文方印》
中華民國9年(1920)
梅舒適コレクション



文徵明《行書午門朝見詩》明時代(15~16世紀) 梅舒適コレクション

【関連事業】

●KEN-Viスペシャルトーク

「梅舒適コレクションの精華を見つめて」

講師: 中村伸夫氏(筑波大学名誉教授、日本書芸院副理事長)

3月5日(日) 午後2時より(約90分) 午後1時30分より開場

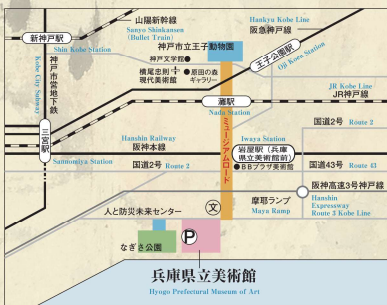
ミュージアムホールにて(定員110名)

聴講無料・先着順・要観覧券 ※「芸術の館友の会」会員優先席あり

●学芸員による解説会(特集2)

1月28日(土)、3月18日(土) いずれも午後3時より(約45分)

レクチャールームにて(定員50名)、聴講無料・先着順



【交通案内】

・阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から徒歩約8分

・JR神戸線灘駅南口から徒歩約10分

・阪急王子公園駅西口から徒歩約20分

・JR三ノ宮駅南から神戸市バス(29、101系統)にて約15分、

「県立美術館前」下車すぐ

・地下駐車場(乗用車80台収容・有料)

※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。

※団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いします。



羅聘《墨梅图》乾隆48年(1783) 梅舒適コレクション

